

電子バグパイプ マニュアル (取り扱い説明書)



【基本動作】

- 電源 ON：電源ボタンを短く押す（※短くは1秒以下）。
- 電源 OFF：電源ボタンを2秒間押す。
- プラクティスチャンターとパイプチャンターの切替：電源が入った状態で、電源ボタンを短く押す。
- メーカー出荷設定値の回復：起動時に、メニューボタンを押す。
- チャンターの音量調整：音量ボタン（+または-）を押す。
- ドローンの音量調整：ドローンがON、チャンターがOFFの状態では音量ボタン（+または-）を押す。

【プラクティスチャンターモード】

- プラクティスチャンターモード：電源のLEDが緑になります。



- チャンター音の ON/OFF：チャンター端子を短く触る。
- ドロン音、メトロノームの ON/OFF：ドロン端子を短く触る。
- ドロン音とメトロノームの切替：プラクティスチャンターモードが OFF の状態で、メニューボタンを長く押す（長くは 1 秒以上）。
- メトロノームのスピード調整：メトロノームが ON、チャンターが OFF の状態で、音量ボタン（+または-）を押す。

●メトロノームの音量調整：メトロノームが ON の時、ドロン端子を触りながら、音量ボタン（+または-）を押す。

●楽器の変更：LED が黄色になるまで、メニューボタンを短く押す。音量ボタン（+または-）を押して、楽器を選択する。

●チューニング：LED が赤になるまで、メニューボタンを短く押す。音量ボタン（+または-）を押して、ピッチを調整する。

【LED の点灯】

電源 LED・モード LED：その意味

OFF・OFF：製品の電源が入っていない状態。

OFF・赤：ソフトの更新モード。

緑・OFF：プラクティスチャンターのモード。

緑・黄：楽器の選択。

緑・赤：チューニング。

赤・OFF：パイプチャンターのモード。

赤・黄：吹き込み練習のモード。

赤・赤：パイプチャンターとドロン音が鳴り始める圧力を調整するモード。

赤と緑の点滅・なし：電池残量が少なくなっている状態。

※上記機能の一部は、別売りの「圧力センサー」が必要です。

【はじめに】

●電池

ソルダチャーターは、単4形電池2本で作動します。スライド式のふたを開けると電池を出し入れできます。極性に気を付けて電池を入れてください。電池の残量が少なくなると電源LEDが赤と緑に点滅します。音にゆがみが出ると、電池の残量が少ないことを意味し、電池交換が必要になります。充電式の電池は、充放電の危険性があり、電池が壊れる可能性があるため、お勧めしません。本製品を長期間、使用しない状態で保管する場合、漏電防止のため、電池を抜いてください。

●電源ボタンの使い方

本製品に電源を入れるため、電源ボタンを短く押してください。以前に選択された設定で、起動します。本製品の電源を切るには、電源ボタンを長く（2秒間）、押してください。使用しない時間がしばらく続くと、自動で電源が切れるようになっています。

●メーカー（工場）設定の回復

起動時に、メニューボタンを押すと全ての設定がメーカー設定値に戻ります。各設定値は、それぞれの調整で音量ボタンの（+）と（-）を同時に押すと、メーカー設定値に戻ります。

●ヘッドフォン（イヤフォン）出力

3.5mmのヘッドフォンジャックが装備されています。ヘッドフォンにつないだ場合、スピーカーはOFFとなります。ヘッドフォンジャックにステレオケーブルをつないで、外部アンプを使うこともできます。

●ストラップ

マウスピースの下にある溝に装着し、首にかけて使うストラップが付属します。

ストラップを使う場合、ケガ防止のため、マウスピースを左周りに回して外してから、使用ください。

【プラクティスチャンターモード】（電源 LED：緑）

本製品のみ（単体）で、プラクティスチャンターモードで演奏できます。ピッチと音は、楽器の選択で選ぶことができます。ドロン音の追加、音量調整もできます。

●音の有効化・無効化

ドロン音は、ドロン端子を短く（1秒以内）触れると、有効になります。チャンター音は、チャンター端子を短く（1秒以内）触れると、有効になります。チャンター端子に2回目に触れると、全ての音（ドロン音とチャンター音）がミュート（消音）になります。有効化の後、運指用端子に触れることで演奏ができるようになります。

●音量

音量ボタン（+または-）を押すと、音量を調整できます。ドロン音が ON で、チャンター音が OFF の時に音量ボタン（+または-）を押すと、ドロン音の音量調整ができます。それ以外は、チャンター音の音量調整となります。

●メトロノーム

ドロン音以外の機能として、メトロノーム機能があります。ドロン音とメトロノーム音の切替は、メニューボタンを長く（1秒以上）押すことで可能です。メトロノームが ON、チャンターが OFF の状態で、音量ボタン（+または-）を押すと、メトロノ

ームのスピードを調整できます。ドロン端子に短く触れることで、メトロノームの開始/停止ができます。メトロノームが ON の時、ドロン端子を触りながら、音量ボタン（+または-）を押すとメトロノームの音量調整ができます。

●楽器音の選択

本製品では、異なる楽器音を選択できます。この選択により、音と運指が変わります。モード LED が黄色になるまで、メニューボタンを短く押してから、音量ボタン（+または-）を押すと各楽器音を選ぶことができます。モード LED が点滅すると、楽器音が決まります。メニューボタンをもう一度短く押すと、設定メニューが終わります。数秒間、どのボタンも押さない場合、メニューは自動で終了してモード LED が消えます。

●チューニング

本製品では、音の周波数（ピッチ）は、±12 段階で調整できます。モード LED が赤色になるまで、メニューボタンを短く押してから、音量ボタン（+または-）を押すと周波数（ピッチ）を調整できます。音量ボタン（+または-）を短時間に小刻みに押すと、周波数は微調整を伴って上下します。音量ボタン（+または-）を 1 秒以上押す動作を繰り返すと、周波数は一段ずつ上下します。メーカー設定に戻すには、音

量ボタン（+と-を同時に）を1秒以上、押してください。

注意：調整して決めた設定値は、製品の電源を切ると自動で保存されます。

【お願い】

耳へのダメージを防ぐため、適切な音量での使用をお願いします。電源を入れた後、

小さな音量からスタートし、お好みの音量まで徐々に上げるようにお願いします。

本製品を水やその他の液体に付けないようにお願いします。本製品を摂氏50度以上の

環境に置くと損傷する可能性があります（電池の損傷含む）。あまり低い温度では、製

品内に結露が生じる可能性がありますので、ご使用を控えてください。本製品は、お

客様がご自分で修理できるパーツは含んでいません。不具合が起きた場合、メーカー

へお問い合わせください。

【メンテナンス】

時々、乾いた布でチャンター管を拭いてください。研磨剤や化学剤が入った洗剤は、

使用しないでください。金メッキされた金属端子は、必要な場合、宝石磨き用クロス

で拭くといいかもしれません。

【運指表】

ハイランドパイプ

Note	G low	A low	B	C nat	C	D	E	F nat	F	G piob	G high	A high
upper hand	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○
	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	○
	●	●	●	●	●	●	○	●	○	○	○	●
lower hand	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●
	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●
	●	●	○	●	○	○	●	●	●	●	●	●
	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
MIDI Note	68	70	72	74	74	75	77	79	79	80	80	82

スモールパイプ

Note	G low	A low	B	C nat	C	D	E	F nat	F	G high	A high
upper hand	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○
	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○
	●	●	●	●	●	●	○	●	○	○	●
lower hand	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●
	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●
	●	●	○	●	○	○	●	●	●	●	●
	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
MIDI Note	56	58	60	61	62	63	65	66	67	68	70

ハイランドホイッスル（ドロン音なし）

Note	C	D	E	F#	G	A	B	C high	D high	E high	F# high	G high
upper hand	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○
	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●
	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●
	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●
lower hand	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	○
	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	○	○
	●	●	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○
	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	●
MIDI Note	72	74	76	78	79	81	83	84	86	88	90	91

*Drone sounds are not available with this selection.

【MIDI】

MIDI は MIDI ケーブルを通じて、演奏情報をデジタル信号としてリアルタイムに送信します。本製品は、ミニ USB ポートを装備しており、ハードウェアを追加することなく、内部の OS ドライブを使って演奏データをパソコンへ送ることができます。

パソコン上では、本製品は「MIDI In」ポートで表示され、演奏データが送信されます。演奏データの解析には、別途、適切なソフトが必要となります。パソコン側から、本製品を制御することはできません（MIDI Out）。MIDI 通信を行うには、本製品の電源を入れる前に MIDI ケーブルをつないでおく必要があります。送信される音階の値は、選択された楽器の種類によります（運指表参照）。音量の変更は、送信されません。チャンターデータはチャンネル 1，ドロンデータはその次のチャンネルで送信されます。

【ソフトの更新】

本製品は USB インターフェイスが装備されており、デバイスソフトを更新することができます。将来、何か更新がある場合、そのソフトは、メーカーのサイトでダウンロードすることができます。 <https://www.p2chanter.com/en/download-2/>

本製品の電源を入れながら、音量ボタン（+と-を同時に）を押すと、ファームウェアのバージョンを確認することができます。モード LED が赤色で何度か点滅し、黄色で何度か点滅します。例えば、赤 3 回、黄 7 回の場合、バージョン 3.7 となります。

【サポート】

必要な場合、下記へお問い合わせください。

●サイト <https://www.p2chanter.com>

●電子メール info@p2chanter.com

●住所 Erik Solda, Paul-Langen-Str. 40, D-53229 Bonn, Germany

●Tel +49 (0)228 94852-75